

2024年8月吉日

一般社団法人 大学女性協会 文化交流委員会

2024年9月14日留学生との文化交流会

「リンボウ先生の留学生のための能楽講座」へのお誘い

日本の大学・大学院へ留学している女性の皆様に日本の伝統芸能、能と狂言の鑑賞会のお誘いです。「能・狂言」はあわせて「能楽」と呼ばれ、約1300年の歴史を持つ日本の芸能です。能、喜劇にあたる狂言はそれぞれが独自の様式を持って発展しました。ともに日本の芸能である人形浄瑠璃・歌舞伎も約400～500年前に「能楽」のルーツである「猿楽」の影響を受けて生まれました。当日は、国立能楽堂にて、会員とのランチ交流会の後、能楽の公演を鑑賞します。続いて作家・国文学者の林望氏の「留学生のための能楽講座」があります。

2024年9月14日（土）

会場：国立能楽堂

10:15 受付開始 国立能楽堂 正面入口 定員10名 無料（交通費自己負担）

10:30～12:10 ランチ交流会昼食「向日葵」

12:10～12:45 能楽堂内展示室等見学

13:00～16:00 解説と鑑賞

1. 作家 林望氏・能楽案内 「仮名草子「竹斎」と能」 *字幕あり（日本語・英語）

2. 狂言 薩摩守 大蔵彌右衛門（大蔵流）

天王寺へ参詣する僧は、無一文で茶屋で代金すら払えません。気の毒に思った茶屋は、渡し守が無料で船に乗せてくれるとおき洒落を教えるのですが、、、。

3. 能 業平梅若猶義（観世流）

木曾義仲を弔う為、近江の国粟津原を目指す僧が琵琶湖の八橋の浦にたどり着きます。そこへ柴舟を漕ぐ老人がやってきたので、粟津まで乗せてくれるよう頼みます。老人は僧を乗せ、あたりの名所を教えながら舟を漕ぎ、粟津に到着します。その夜、今井四朗兼平の霊が現れ、義仲と自分の最期の様子を語るのです。

16:15～ 研修能楽堂舞台へ移動

16:30～17:30

リンボウ先生の留学生のための能学講座

こくりつのうがくどう しぶやくせん다가や
●国立能楽堂(渋谷区千駄ヶ谷4-18-1)

J R	総武線	千駄ヶ谷駅	下車	徒歩	5分
都営地下鉄	大江戸線	国立競技場駅	下車	A4出口	徒歩 5分
東京メトロ	副都心線	北参道駅	下車	出口1	徒歩 7分



お申し込み



ぶんかこうりゅういんちよう たてべしずよ あて
JAUW文化交流委員長 建部静代 宛

E-MAIL : saganshizuyo@gmail.com

タイトル「JAUW Noh Kanshou」

ほんぶん なまえ だいがくめい がくぶがつかめい こくせき にほんこくない じゅうしょ ちよくぜん れんらく
本文：お名前・大学名・学部学科名・国籍・日本国内の住所・直前に連絡の
と けいたいばんごう
取れる携帯番号

メールアドレス

QRコード

しめきり がつ にち
締切：9月5日まで

もうしこ はや ねが
お申込みはお早めをお願いいたします。(定員に達した
ていじん たつ

しめん しめ
時点で切り)

じよせい かが あした
～すべての女性が輝く明日のために～

いっしゃ だいがくじよせいきょうかい じよせい こうとうきょういく こうじょう だんじよきょうどうさんかくしゃかい
(一社)大学女性協会(JAUW)は女性の高等教育の向上、男女共同参画社会
の推進、国際協力と世界平和を目的とした 1946年創設の NGO で、啓発・提言、
しょうがくきん こくさいしえん こくさい じぎょう じよせい いくせい
奨学金、国際支援、国際ネットワークなどの事業を通して女性リーダーの育成
めざ
を目指します。